

情報工学科



情報工学科：デジタル社会で活躍するITエンジニアへの道

ITエンジニアは、IT業界やそれ以外の幅広い分野で、デジタル活用、情報システム、そして情報セキュリティやAIの発展を支える、重要で夢のある職業です。

【情報工学科の特色】

情報工学は、社会を変える力があります。そして、情報工学の進展は目覚ましく、将来性の高いものです。情報工学科は、大学で学んだことがすぐに活用できることも魅力です。ITエンジニアを目指す学生のために、最新のコンピュータ設備、経験豊富な専任教員、60を超える専門科目の充実したカリキュラムをそろえています。情報工学科で、ITエンジニアへの夢をスタートしましょう。

- 充実した教授陣と設備
- 情報工学を広く、深く学ぶことができるカリキュラム
- 情報処理技術者の国家資格のサポートあり
- 高度な実践力、自主性、課題解決力も重視した授業

① 情報工学科の教育環境



■ 研究・実験エリア

パソコン、大型スクリーン、大型ディスプレイ、携帯型コンピュータ、IoTデバイス、各種センサー類（簡易防音室を導入予定）

■ ゲームプログラミング演習室

パソコン、簡易暗室、実験水槽、大型ディスプレイ、実験用スクリーン

■ パソコン室（工学部）

パソコン205台完備。専門科目の授業に最適。

■ プログラミング道場（工学部）

プログラミングに関する学生自主活動、自習制作。

② 情報工学の最先端研究



■ 専任教員と研究室

情報工学の専任教員による研究室：情報ネットワーク、知能情報学、データベース、コミュニケーションデザイン、画像センシング、数値シミュレーション、アプリデザイン、自然計算、コミュニケーション・サイエンス

■ 最先端の情報工学研究による学び

多彩なテーマから選択。実社会の問題解決能力と最新技術を習得。

③ 特色ある授業



■ 基礎と応用を広く学ぶカリキュラム

授業は、コンピュータの基礎、プログラミング、インターネットの基本から始まり、人工知能（AI）、仮想現実（VR）、IoT（もののインターネット）、ゲームプログラミング、コンピュータグラフィックス、画像処理、情報セキュリティ、情報ネットワーク、データベース、アプリデザイン、ソフトウェアエンジニアリング、データサイエンス、センサー技術などの高度な分野に進む。

■ 実践的演習による成長

ITの基礎と応用力、実用スキルを実践的演習で習得。

■ 自発的な学びと社会経験

アクティブ・ラーニング、TA・SA参加、企業技術者との交流、コンテスト参加などを通じて成長。

■ 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

確かな基礎を学び、情報工学への関心と理解を深めるプログラム。

④ 資格取得支援



■ 資格取得支援

情報処理技術者試験（ITパスポートなど）、CGエンジニア検定、画像処理エンジニア検定をサポート

- ・ 専門授業
- ・ オンラインの自習教材
- ・ 受験料補助制度

■ キャリア形成支援

情報工学科の幅広い就業選択を知り、実社会で即戦力となるための知識とスキルの習得意欲を育てる。

オンラインの自習教材

「情報化社会と職業」
のシラバス